

科学技術と新事業創造

リサーチ・ファクトリー

Science, Technology and Entrepreneurship Research Factory

早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構

WASEDA University



## 「科学技術と新事業創造リサーチ・ファクトリー」の目的

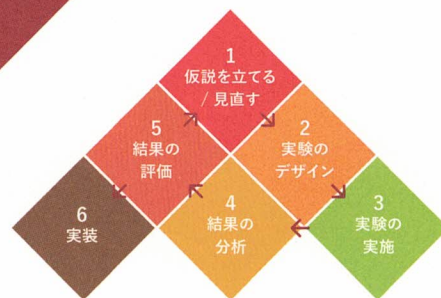
イノベーションは企業の持続的成長のためのエンジンである。

大学を中心とした研究機関から創出される科学技術は、新事業創造のための「知」の源泉であり、企業がイノベーションの源泉を社外に求めるようになるに連れて、大学との連携の重要性が高まるようになった。

本ファクトリーにおいては、世界の社会科学の研究分野で実践されている「イノベーションの手法」について、網羅的に調査を行い、その手法を会員企業等により構成されるコミュニティにおいて実践することを目的とする。「イノベーションの手法」としては、デザイン思考、リード・ユーザ・リサーチ、ユーザ・イノベーション、イノベーション・トーナメント、科学的実験の導入による仮説検証とリーン・スタートアップ、ムーンショット・プロジェクトのデザイン、Structured-Spin-Inモデル、CVCを含めたベンチャー・キャピタルの有効活用、世界のイノベーション・エコシステムとの連携と有効活用、スター・サイエンティストの同定と連携など多様な手法を試みる。

具体的には、以下の4つを活動の柱とする。

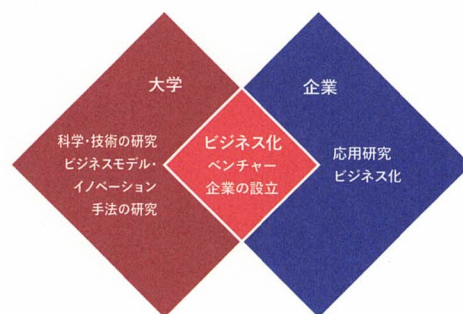
- ① 会員企業を中心とした研究会を定期的に開催し、イノベーションの手法の知見を共有する(協調領域)。
- ② 会員企業からのニーズに基づき、シーズのビジネス化に関するパイロットプロジェクトを実施する(競争領域)。
- ③ 会員企業の社内でのイノベーション推進のためのパイロットプロジェクトを実施する(競争領域)。
- ④ 大学のシーズ、有望研究者、エコシステム関連ベンチャー企業等のリスト化を行う(協調領域)。



「科学的実験」による分析とデザインの相互作用  
社会科学が「分析アプローチ」に留まらず、「デザインアプローチ」にまで踏み込む。

※ トムク (2001)、吉川(2003)、國領(2004)、ダベンポート(2009)などを改編、統合

	分析 (現象を理解する)	デザイン (理論を具現化する)
自然科学	理学	工学
社会科学	多様な社会科学の領域 (経営・経済・社会・政策)	



広がる「基礎研究」の領域

大学は研究に留まらず、社会実装にまで責任を持つ。

企業は社会実装のみではなく、基盤となる研究開発にまで責任を持つ。



### 研究代表者 牧 兼充 (まき かねたか), Ph.D.

早稲田大学ビジネススクール准教授。

主な兼職として、カリフォルニア大学サンディエゴ校Rady School of Management客員助教授。

研究分野は、テクノロジー・マネジメント、イノベーション、アントレプレナーシップ、科学技術政策、大学の技術移転、大学発ベンチャー等。今までの研究成果は、主に①ベンチャー企業を創出するための大学の制度設計、②ベンチャー企業の成功確率の向上手法、③イノベーション・システムの日米比較、の3つに分類される。



## 主な活動

### 1. 研究会の開催 (2ヶ月に一度程度)

- 新たなイノベーション手法の知見
- 大学内シーズの発表
- 早稲田大学エコシステム関連ベンチャー企業の発表

### 2. 大学シーズ・アクセラレーション・プログラム

(Lab to Market)

- 学内シーズの探索・リスト化
- MBA学生による技術評価・ビジネス化のアイデア検討

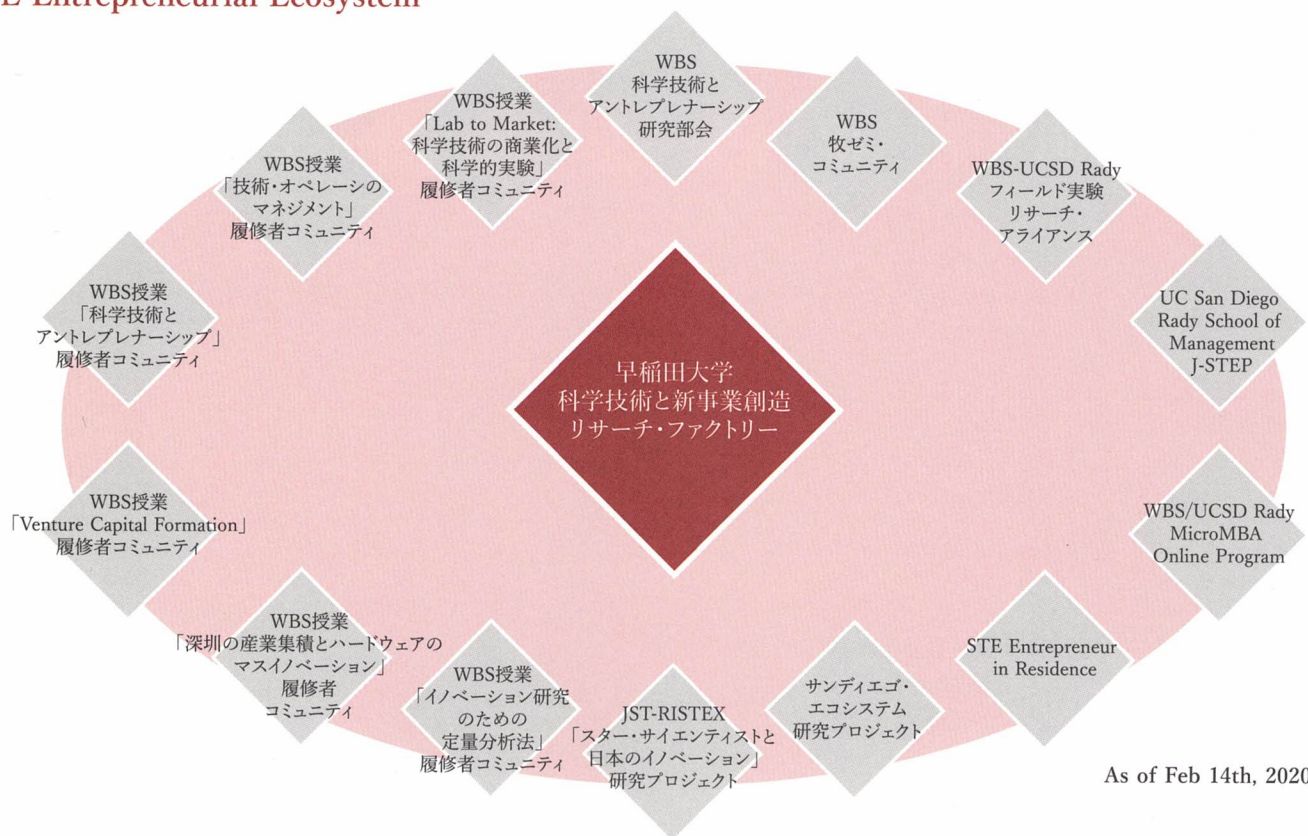
### 3. 学内有望研究者・シーズのリスト化

- 早稲田大学内スター・サイエンティストの作成
- 早稲田大学内スター・サイエンティストの卵リストの作成

### 4. 早稲田大学エコシステム関連のベンチャー企業のリスト化

### 5. イノベーション創出のための科学的実験のデザイン (個別共同研究)

## STE Entrepreneurial Ecosystem



As of Feb 14th, 2020

### 機構長からのメッセージ

本学では「世界で輝くWASEDA」を目標に掲げ、産学連携、社会ニーズを理解した高度人材育成、論文・知財の創出、ベンチャーの育成を目指した「早稲田オープン・イノベーション・バレー」構想を進めています。

このオープンイノベーションでは分野横断型、すなわち人文社会学と理工学の協力が必須となります。この度、早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構において、ビジネススクールの牧准教授が「科学技術と新事業創造リサーチ・ファクトリー」を発足しました。これまで理工系が中心であった産学連携の共同研究に、ビジネス視点や手法を融合していく、日本でも先進的な取り組みです。早稲田発のオープンイノベーションエコシステムにどうぞご期待ください。



早稲田大学副総長  
(研究推進、情報化推進担当)  
笠原 博徳

### 副機構長からのメッセージ

OI研究機構では、2019年12月に牧准教授をPI教員とする新ファクトリーを発足いたしました。この「科学技術と新事業創造リサーチ・ファクトリー」はいわゆる技術系の共同研究にとどまらない、企業の事業創出に沿った早稲田大学特有の人文・社会科学系の強みを生かした文理融合のファクトリーです。企業がいかんにしてイノベーションを起こしていくのかといったプロセスの共同研究を実行していただくことで、自社のイノベーションの改善、あるいはイノベーション手法の開発そのものを目指すためのファクトリーであり、早稲田大学特有のファクトリーとして期待をするものであります。



統括クリエイティブ  
マネージャー  
中谷 義昭

## ファクトリーの組織体系

### ファクトリー体制

#### PI教員

牧 兼充, Ph.D. (早稲田大学ビジネススクール准教授)

#### ファクトリー・クリエイティブ・マネージャー

阿部 博

塩月 亨

渡邊 崇之

### 運営体制



## 参画にあたっての年会費

### 特別企業会員

80万円

- ・研究会への参加(人数無制限)
- ・招聘研究員の派遣(大学シーズへのアクセス)
- ・イノベーション促進のためのアクセラレーション・プログラムへのテーマ検討からの参画、運営メンバーとしての関与
- ・フィールド実験などの手法を活用したパイロット・プロジェクトの立ち上げ
- ・シーズ、スター・サイエンティストの卵などのリストの共有

### 一般会員

30万円

- ・研究会への参加(登録メンバー2人まで)
- ・イノベーション促進のためのアクセラレーション・プログラムやイノベーション・トーナメントといったアクティビティに関する情報提供

### ベンチャー会員

10万円

- ・研究会に参加(登録メンバー1人まで)

- ・個別プロジェクト立ち上げにあたっては、必要経費など随時要相談。
- ・必要に応じて、個人会員を受け入れる場合がある。
- ・年会費と別にクラウドソーシングによる寄付を集める。

## 会員になるメリット

- 科学的実験を応用した「フィールド実験」など、科学的知見に基づく新たなイノベーション手法の実践と習得
- 技術シーズの事業化を目的としたアクセラレーション・プログラム等のアクティビティを通じた異種の知との連携
- 早稲田大学を中心としたスター・サイエンティスト&スターサイエンティストの卵との関係構築
- 早稲田大学エコシステム関連ベンチャー企業との関係構築



## 早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-6-1

TEL 03-5286-8219

<https://www.waseda.jp/inst/oi/>

[oi-contact@list.waseda.jp](mailto:oi-contact@list.waseda.jp)